

ともしの一通信

各事業所より

行事



お知らせ

編集後記



春の陽気と共に、今年度がスタートしました。
今月号のテーマは「事業所紹介」です。
新しい一年も元気に楽しく過ごしたいですね。



就労継続支援B型事業所 ともしードリーム

3月から新規利用者さんが増え、25名になりました。

目標決めの面談では新しい仕事にチャレンジしたいという方も多かったので、新しい仕事に挑戦していただける機会を増やせるよう地域との関係を築いていくことを考えていきます。仕事だけではなくレクリエーションでも今まで行えなかった行事を行い、体験することで身につくことを増やしていきたいと思えます。

利用者さんやご家族のニーズに応え安心して通所できる事業所を目指していきますので、今年度もどうぞ宜しくお願い致します。

所長 伊東 美紀



年間行事予定

4月：お花見 歯科健診
6月：手話講習会
10月：ふれあいスポーツのつどい BBQ(バーベキュー)大会
12月：忘年会
1月：テーブルマナーセミナー
3月：研修旅行

上記以外に対人マナーセミナーや夏祭り等の行事も予定しています。

※年間行事予定は変更になる場合があります。
※新型コロナウイルス感染症の影響により開催できない場合があります。

特定非営利活動法人
東京自立支援センター
〒186-0003東京都国立市富士見台4-11-7-101号
TEL 042-576-9088 FAX 042-576-9144
ホームページ <http://www.tokyo-tomonoy.org/>

Facebookページ QRコード

facebook



就労継続支援A型事業所 ともに一

今年度のともに一はステップアップともに一からともに一へ異動された利用者さんが3名、現在トライアル雇用中の利用者さんが1名、ともに一ドリームB型に移動になった利用者さんが1名となりともに一は27名でのスタートとなりました。

昨年は新型コロナウイルスの影響をうけ、休業や休止、おしぼり包装作業がなくなるなど苦しい状況でした。今年もまだ影響を受けることもあるかと思いますが新規事業を確保して、利用者さんが作業を行える場所を提供していきたいと思います。新規事業として清掃作業が始まり、職員も支援に力を入れ頑張っていきたいと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。

所長 高森 千穂



就労継続支援A型事業所 ステップアップともに一

春の暖かい日ざしが心地よい季節となりました。

みんなで桜の木を囲み、昼食をともにし、交流を楽しむこともいまだに実現はできず、新しい社会生活活動となることへの不安、これまでの日常に戻ることに期待、様々な感情が交差する毎日です。

令和4年4月の新年度はこれまでと変わり、新規利用者さんの入所はないスタートとなりましたが、昨年11月に新たに1名の職員が入職し、新規受託作業の開拓に向け、職員一丸となって取り組んでいます。そして新規受託作業の獲得と受託量の拡大を進め、利用者さんが新たな作業を覚えて、安定して作業に取り組めて行けるように、作業環境を整えていきます。

今後ともステップアップともに一をよろしくお願いいたします。

所長 前田 摩耶



..... 放課後等デイサービス スマイルともに一・二

令和2年12月に、スマイルともに一・二が開所してから1年以上経過しました。当初は少人数から始まりましたが、ありがたいことに利用者児童が増え毎日賑やかな状況となりました。

子どもたちの安心できる居場所の1つとなれるよう、日々支援に取り組んでいます。今後も子どもたちの良いところを伸ばせる支援を心がけながら、出来ることが増やせるよう見守り声掛けし、一緒に楽しみながら過ごしていけたらと思っております。今年度もスマイルともに一、スマイルともに二をよろしくお願いいたします。

児童発達支援管理責任者 山崎 大介



..... 就労移行支援事業所 ポートビズ ・ 就労定着支援事業所 ポートビズ

ポートビズには就労移行支援事業所と就労定着支援事業所の二つの顔があります。ポートビズは4月に1名の利用者さんを迎えます。3か月間は基礎期といい、既に獲得しているものや出来きれていないものの整理、パソコン・基礎学習・軽作業・事務補助等を通し、作業遂行能力アップを図るだけではなく、コミュニケーション能力の向上・働くルールやマナーを学んでもらいます。先は長いですが、一つひとつ乗り越えて行きましょう！そして、縁があって、就労されると定着支援のポートビズが顔を出します。令和3年度はコロナ禍でも企業は採用を控えるどころか、積極的に行っているようで6名の利用者さんが就職しました。保育園・パン焼成・警備会社のパソコン業務・学習塾・在宅勤務の事務作業・特例子会社の清掃部門と多岐に及んでいます。それぞれの能力・持ち合わせているもの・仕事を継続出来る職種が異なるので、色々な業種・職種についていると思います。今年度もよろしくお願いいたします。

所長 伊藤 英治



共同生活援助事業所 とともに一ホーム

・とともに一ホーム（共同生活援助・サテライト型住居）

緑豊かな城山公園のすぐそばに3棟の建物が建っています。ホーム1には6名、ホーム2には4名、ホーム3には6名の合計16名の男性利用者さんが生活をしています。平日はホームから出勤し、週末には自宅で過ごす方も多くいらっしゃいます。ホームでは自室の掃除や洗濯、共用箇所の掃除、炊飯などを分担し、自立（自律）に向けて、日々経験を積んでおられます。コロナ禍により余暇の楽しみには制限がありますが、状況をみながら少人数での1泊旅行やレクリエーション、外食などを企画しています。利用者さんが、穏やかに安定して過ごせるよう、日々充実した生活が送れるような環境を提供できる「家(ホーム)」でありたいと思っています。

また、1月より新たにサテライト事業も開始いたしました。実際にとともに一ホームの近くにアパートを借りて生活をし、日常的なサポートが必要な際にホームの世話人の支援を受けながら、3年後の一人暮らしの実現を目標として過ごされています。

・とともいールポ（空床利用型短期入所）

自立生活の体験やご家族のレスパイト（休息）としての役割もあります。定員1名。ご利用についてはお問い合わせください。

所長 渡邊 吉郎



編集後記

第二次世界大戦で日本人は230万人、ロシア人は1450万人の尊い命が失われた。戦争は国のトップが殺人罪を合法化する事。命よりも大切なものは無い！1450万人もの尊い命が失われた上で自分が現在の地位に居られる事を理解しているのだろうか。命の大切さはウクライナでもロシアでも同じ。一刻も早く終結させ、平和な世界を取り戻してもらいたい。